

令和2年第1回宮城野区区民協働まちづくり事業評価委員会（書面開催）概要

- 開催方法 新型コロナウイルス感染防止の観点から書面開催とした
- 開催時期 令和2年5月18日（月）～令和2年5月29日（金）
- 委員 井上範一委員長、高畑信子副委員長、佐藤研副委員長、有坂紀美江委員、葛西淳子委員、庄司泰典委員
- 議事 令和元年度区民協働まちづくり事業企画事業の事後評価について

<議事概要>

区民協働まちづくり事業に関する要綱（平成14年3月25日市長決裁）に基づき、宮城野区区民協働まちづくり事業評価委員会を書面にて実施し、令和元年度区民協働まちづくり事業企画事業（令和元年度実績のある事業に限る）の事後評価を行った。事後評価にあたっては、企画事業実施団体から提出された実績報告書等を基に行った。各評価委員からの評価については、とりまとめの上、各事業実施団体に通知した。

<評価委員からの意見等（抜粋）>

（1） すすむしの里づくり事業（実施主体：すすむしの里づくり実行委員会）

- ・ 小学校や市民センター等での出前講座や複数の地への放虫、メディア等での広報、他地域の団体との交流等、限られた期間で精力的に活動している。
- ・ 人間関係の希薄化に貢献していると思われる。
- ・ 毎年課題となっている活動の担い手を広げるための仕組みづくりが必要である。コアな活動メンバーやボランティア人数、年代などの推移が分かると、対策が見えてくるかもしれない。
- ・ 歴史的にも文化として宮城野区の特色ある事業と考える。
- ・ 毎年、新しい活動へも目を向けられている事に、感心する。ステイホームの本年度は、すすむしの声を SNS 発信出来たら良いと思う。
- ・ すすむしの里づくりを目指し、地道に継続的に事業展開が行われている。宮城野区から、全市や他の市町への広がりも期待される。

（2） みやぎの・まつり（実施主体：みやぎの・まつり実行委員会）

- ・ 宮城野区民としての自覚とコミュニティ構築、交流促進と開催の意義は大変に大きい。
- ・ 宮城野区の特色あるブースが多くみられる。毎年、同じような出店があり、新鮮さがあると良いかとも思う。
- ・ OL、サラリーマン世代を実行委員に入れる工夫が必要。
- ・ 最近、若い世代の参加も見られると感じる。東口には大学、専門学校もあるので、更なる若いエネルギー表現の場ともなりつつあると感じる。
- ・ 毎年開催する大きなイベントなので、実行委員会の方々の運営努力に感謝するとともに、今後も区民に愛される区民まつりの実施を期待する。

(3) 地域はっぴい子育て支援事業（実施主体：みやぎの区民協議会 子育て支援部会）

- ・「ママらいふ手帳」を活用した子育て世代の支援の仕組みは、だんだん浸透してきていると感じる。市民団体、行政の協働がうまく機能していることは評価できる。
- ・宮城野区は子育て世帯割合が高く、かつ転入者も多いとのこと。地域傾向に合わせた支援アドバイスもとても良いと思う。
- ・転勤・転入の多い宮城野区では、今後も継続をお願いしたい。ファシリテーターの継承と講座の確保は、大変と思う。協力機関・団体が増えると良いのだが…。
- ・子どもの親である前に、個人としての自分を受け入れ、その自尊感情が前向きの姿勢を作っていることが、アンケートのコメントから伝わってきた。
- ・出産前の母親講座に似て、参加して良かった・参加必須な講座と感じる。引き続き頑張ってもらいたい。
- ・手帳の認知度、活用度は、どのくらい上がっているのだろうか。さらに普及を拡大するためには、活動の成果、活用事例などを見える化していくことも大切だと思う。

(4) おらほの公園草刈隊支援事業（担当課：宮城野区公園課）

- ・設立団体も活動実績も増加。事業がしっかりと地域に根差していると思う。
- ・ほぼ、地域町内会で高齢の役員さん方が苦慮している印象。負担の軽減効果はありがたい。
- ・課題となっている、機械の修理、劣化などを視野に入れた予算計画を行うと良い。
- ・地域企業にも協力参加の声かけ＝地域貢献は win-win である。
- ・ボランティアの方々からの意見を聞けると良い。
- ・公園は被災時の給水や一時避難所としても重要で、防災訓練に利用される事もある。地域の目が集まる公園、企業・住民が生き生き活動する事で、コミュニティの拡がりにも繋がる事を期待する。

(5) 宮文活性化事業（担当課：宮城野区まちづくり推進課）

- ・このような小規模だが心地よい、居心地の良い催しができたのが大変良いと思う。
- ・宮城野文化センター前の広場を賑わいの場にする事は、文化センターの建築計画に関わった多くの区民の望みだったので良かった。
- ・まだ事業として始まったばかり、とても良い企画だと思う。これから認識を高めて賑やかスポットになってほしい。
- ・宮城野高校美術科との連携は特色の一つとしてよい。高校生主体の企画がどんどん出るようになってほしい。
- ・他の市町村や地域での取り組みや事例をリサーチしながら、宮城野区独自のユニークなアイデアや工夫がある事業展開を期待する。

(6) みやぎの地域力向上支援事業（担当課：宮城野区まちづくり推進課）

- ・始まったばかりの事業であるが、2月の交流会には多くの人々が集まり、賛同者が多い事業

だと確認できたことは良かった。

- ・宮城野区は歴史も深く、探索活動団体も多い地域なので、受け入れられやすく、意義も深いと思う。
- ・駅東口地区はもとより、鶴ヶ谷地区、東部沿岸地区など、調査対象となるエリアは広い。モデルとなる仕組みを構築し、それぞれの地区のプレーヤー育成に努めてほしい。
- ・歴史や文化、地域の魅力を情報発信することにより、個人でもグループでも、好きな時に興味のある所を訪ねることができるようになるので良いと思う。
- ・既に活動しているまち歩きの団体と協力しあって、情報の内容の精度を高めて欲しい。
- ・地域資源の再発見と、掘り起しが期待される事業だと思う。従来のシニア世代を中心とした歴史探訪にとどまらず、中堅世代、若者世代にもヒットするユニークな仕掛けを期待する。

(7) 宮城野盆踊り普及事業（担当課：宮城野区まちづくり推進課）

- ・夏まつりに取り入れた町内会が6か所から26か所に増えたことは、すばらしい。市民センターとの共催が功を奏している実例は、これからの普及事業活動の参考になると思う。
- ・地域が大切にしてきた「宮城野盆踊り」が、先の見え難いこの時世に小さな灯となれば良いと思う。
- ・区民や地元企業による普及委員会（区役所からの独立した形で）の設立へのロードマップ（設計）を作ると良いと思う。
- ・宮城野盆踊りに関する物語（＝ストーリー）も一緒に伝えられると面白い。
- ・耳から故郷の音として記憶に残るよう、あらゆる機会を活かして音を流してほしい。
- ・どうせなら区内小学校の必修項目に入れてもらいましょう!!子どもが取り組むことが大事である。